

AR動画をダブルタップすると全画面表示になりますので、ずっとかざす必要はありません。

## 広がる福祉のこころ まぶしい日差しの中で

### 第30回福祉まつり

11月25日(日)、寒さの合間に暖かな日差しが降り注ぐ中、第30回福祉まつりが開催されました。バルーンアートや食べ物の出店を回って楽しむ子どもたち。メインステージでは太鼓の演奏やフラダンスで会場を盛り上げ、来場者を沸かせました。会場を中心に福祉のこころが広がり、やさしい町に育ちます。



↑藤久保公民館では福祉アートの作品展示も行われました。

紙面に掲載されている映写機マークがある写真をスマホをかざすと写真が動く「AR」を導入しています。体験するには「HP Reveal」アプリが必要です。導入方法などは町ホームページをご覧ください。「三芳町 AR」で検索！

三芳町 AR 検索



↓フォトセッションでは選手同士が肩を組んで団結をアピール。



## スポーツで埼玉を元気に！ プライドリーム埼玉トークフェスティバル

県内に本拠地のあるスポーツチームの現役選手やスタッフが意気込みや素顔などを語るトークフェスティバルが、12月11日(火)にコピスみよしで行われました。大崎電気ハンドボール部の小室大地選手や三芳町で成人式を行った大宮アルディージャの三門雄大選手など、町にゆかりのある選手も参加。町での思い出や魅力などを語り、会場をにぎわせていました。

↓参加者からのたくさんの質問に答える松本先生。



## 落ち葉堆肥農法を継承 実践農業者認定証交付式

日本農業遺産「落ち葉堆肥農法」の実践農業者認定証交付式が11月27日(火)に中央公民館で行われ、三芳町からは新たに8名が認定証の交付を受けました。交付式後には日本土壌協会会長松本聡氏の基調講演を開催。農法的重要性などを分かりやすく熱心に語る松本先生。その話に参加した農業者は何度もうなずき、真剣な表情で講演を聞いていました。

フォトニュースに掲載しきれないイベントや写真は町のFacebook「いいね！三芳町。」で配信中。ロゴがあるイベントは関連した情報などをFacebookで公開しています。



## 秋の雑木林に響き渡るハーモニー

### 雑木林で演奏会とキャンプ

11月10日(日)、秋のやわらかな日差しのなか、北永井の雑木林で演奏会とキャンプが開催されました。ギターや二胡などの美しい音色に、客席も手拍子で盛り上がります。会場内では、しめ縄飾り作りや鶏とのふれあいなども行われ自然の楽しさを体験。陽が沈むと羽釜でのご飯炊きやバーベキューで夕食タイム。澄んだ夜空の下、自然の恵みを味わいました。



↑新鮮な野菜がたっぷりのバーベキュー。子どもから大人まで協力して作ります。

↓紅赤いものマセドニアサラダは、ホクホクで美味しいと大好評。



## 紅赤いも120周年記念 紅赤学校給食の提供

今から120年前の明治31年に発見され、三芳町でも長年栽培されてきた紅赤いもをもっと知ってもらおうと、11月30日(金)に町内の全小中学校で紅赤給食が提供されました。ちなみに12月1日は「紅赤いもの日」。「さつまいもの女王」と呼ばれ、栗のような風味と粉雪のような舌触りが特徴の紅赤いもを皆さんもぜひご賞味ください。

↓表情豊かに紙芝居を読む長野さんに、みんなが魅了されました。



## わくわく絵本♪かみしばい 長野ヒデ子さん講演会

三芳町の「よみ愛・読書のまち」を応援していただき、特製バックのイラストも描いていただいた絵本作家長野ヒデ子さんの講演会が11月17日(日)、藤久保公民館で行われました。絵本や紙芝居の読み聞かせから絵本の誕生秘話まで、ユーモアあふれる長野さんのお話にみんなが釘付けに。親子で来場した人は「とても親しみやすく、大人も子どもも楽しめた」と感想を語りました。